

拝啓

梅雨の候となり、雨の日や蒸し暑い日が続いております。お元気でお過ごしのことと思います。

エンカウンター7月号お送りいたします。いつも読んでいただき、ありがとうございます。

私は毎朝 10 分ぐらい、内村先生の「一日一生」、新渡戸先生の「一日一言」、小西先生の「主の御名を呼ぶ」、カウマン先生の「山頂をめざして」、バークレー先生の「一日一生」など、一日ごとに短文を収めている霊想の書といわれる本を 10 冊ぐらい目を通します。毎朝どの本かで、その日にぴったりとした教えに出会います。今日はどの先生から教わる事になるのかという事が楽しみであります。このエンカウンターは、それらの本の中から、私が感銘を受けた本を順次ご紹介する方針で始めました。

新渡戸先生の「一日一言」は、今月で終わりにしますが、この本も皆様も座右の書に加えられるとよい本のように思います。盛岡の新渡戸基金から発行されていますので、お勧めいたします（1500 円）。

新渡戸基金 020-0024 盛岡市菜園 - 4 - 10 第2サンビル

電話 019-654-3279

F A X 019-652-4213

6月6日、新渡戸・南原賞の授賞式があり、今年は東京女子大学の港晶子学長が受賞されました。受賞のご挨拶で、賞金は全部アジアからの留学生受け入れのための基金の一部に当てる、新渡戸先生が、日本とアメリカの架け橋になりたいといわれたように、自分も退職後は、アジアのある国に移り、アジアと日本の架け橋に成りたいと言われたのには、感動しました。

その授賞式に札幌から参加された方が、新渡戸先生の遠夕夜学校の生徒募集案内の文章を紹介されました。珍しいものなので、今回コピーして添付させて頂きました。

気候不順の折から、御身体御自愛ください。

敬具

平成17年6月30日

山口周三

エンカウンターの読者各位